

円空と瀬織津姫【上巻】——北辺の神との対話



はじめに——円空の余韻と謎

I 円空彫像の胎動と旅立ち

円空彫像のはじまり——阿賀田大権現という女神

阿賀田＝県神の謎／禊神としての県神／大縣の女神／野宮神と春日比売神／瀬織津姫は悪神か

円空の彫像思想——高賀山の鬼神と地神

円空の信仰の原郷・高賀山／円空の鬼神擁護／円空の創作縁起書／乙狩滝神とはなにか／円空の彫像思想

円空彫像の旅立ち——藤の呪力を超えて

円空と藤／藤原氏の王権思想／円空彫像の旅立ち

II 蝦夷地の円空

蝦夷地の観音たち——背銘が語る円空の足跡

蝦夷地・松前へ／有珠善光寺から礼文華へ／内浦駒ヶ岳へ

北辺の神への鎮魂——姥神・駒ヶ岳の神と円空

川瀬神と円空／姥神とはなにか／内浦駒ヶ岳の神と円空

霊場・太田山と円空——北辺の地から

熊石から太田山へ／蝦夷地の守護神／太田山霊神と習合した仏たち／十一面観音立像の誕生

III 北奥の円空

恐山信仰と地神供養——円空十一面観音のおもい

佐井から恐山へ／恐山・優婆尊と十一面観音

岩木山の鬼神信仰——円空十一面観音の集中

ふたたび津軽へ／岩木山の「秘神」／岩木山と厳鬼山／多都比姫とはなにか／

岩木山の鬼神・竜神・観音信仰／岩木山の鬼神と円空十一面観音

男鹿の鬼風——赤神・鱒田浦神と円空

秋田随一の聖地・男鹿島／鱒田浦神という男鹿の地主神／円仁の祭祀思想／円仁と瀬織津姫神／

異彩を放つ十一面観音縁起／赤神と鬼たち

円仁と円空——北の旅の終焉地・松島へ

龍泉寺の十一面観音／鳥海山北麓の遙拝山・日住山／雄物川の水源地と円空十一面観音／

松島の月と円空

*瀬織津姫神祭祀社全国分布図

*瀬織津姫神全国祭祀社リスト

もくじ

円空と瀬織津姫【下巻】——白山の神との対話



IV 白山信仰の挫折と深化

十一面観音の憤怒と沈黙——円空白山信仰の挫折

白山三尊の彫像／法隆寺の大日如来像／

眞教寺から中観音堂へ／円空十一面観音の忿怒／

円空十一面観音の沈黙

白山信仰の本源神 I——藤原秀衡と円空

白山神と駒ヶ岳・乗鞍岳の神／白山の「地神」として

の別山神／石徹白と藤原秀衡／石徹白への道

白山信仰の本源神 II——円空の確信

石徹白に伝わる白山秘蔵文書／白山信仰にみる

瀬織津姫神／泰澄からのメッセージ／円空の確信

V 白山信仰の展開

善女龍王像に化身した白山神——大峯山・志摩・伊勢へ

善女龍王像の誕生／大峯山・天河弁財天とはなにか／伊雑宮神訴事件と円空／

善女龍王像と伊雑宮／朝熊岳金剛證寺の虚空蔵信仰

十一面観音の再生——白山比咩神＝白山滝神の神託

熱田大明神という女神／荒子観音寺と円空／蘇った十一面観音

翼をもった十一面観音たち——関東「地神供養」の旅

十一面観音三尊の誕生／武蔵国の地神供養／常陸国・月崇寺の観音像／

上野国・貫前神と円空／日光の滝神と円空

VI 鬼神供養から弥勒信仰へ

琵琶湖の水神と大祓神——伊吹山・三井寺と円空

伊吹山と円空／伊吹山の瀬織津姫神祭祀／浅井姫という神／琵琶湖・竹生島の神／三井寺＝園城寺の善女龍王像

円空の意志表示——両面宿禰と瀬織津姫神

飛騨国へ／両面宿禰と飛騨国／両面宿禰と乗鞍大神／日抱尊と乗鞍大神／円空の意志表示／水無大神と円空

弥勒菩薩の母なる神——生きている円空の白山信仰

円空の悟り／円空の弥勒信仰／高賀山にもどった円空／生きている円空

あとがき



▲鬼子母神像(羽島市・中観音堂所蔵、写真:©中日新聞社2005)